

学校の様子（一人1台端末を活用した授業の様子）

今回は、1年生の英語「論理表現Ⅰ」での一人1台端末を使用した授業の取り組みを紹介します。



インタラクティブプレゼンテーションのツールである「nearpod」を活用して授業が進みます。教員が作成したスライドを黒板と生徒の各端末に表示させます。また、教員の設問に、各自の端末上で解答（タッチペン、キーボードなど）したものを教員が確認し、それを全体で共有することもできます。

前回の授業の振り返りのかねて全員で「山登りゲーム（time to climb）」を行いました。選択問題に取り組むことで、楽しみながら前回の学習の定着の確認を行いました。生徒たちは、非常に楽しそうに前向きに取り組めます。（教員の画面には、生徒の選択した回答の割合も表示されます。）

今回は、第4文型・第5文型の受動態への変換などを学びました。教員の発問に対して、各自の端末で解答します。生徒の理解度を教員はライブで確認することができ、それに応じた対応を行えます。

ある生徒への回答に対して、教員から「どうしてそう思ったの？」と考えを尋ねる質問もあり、生徒たちは、自分の回答の根拠を意識していました。

生徒の解答のうち、良いものは、名前などは伏せた状態で、クラス全体に共有。紹介された生徒は、思いがけなかったようで、とても嬉しそうな表情をしており、温かい雰囲気の中で授業が進んでいきました。